

## 第5学年4組外国語科学習指導案

令和8年2月18日（水）第5校時

### 1 単元名 NEW HORIZON Elementary 5 Unit 7 Welcome to Japan!

#### 2 単元について

教科書には、この単元の目標として「日本各地の魅力を伝えるために、行きたい場所やそこでしたいことについて聞き取ったりグループで紹介したりすることができる」とある。また「日本各地の魅力を伝えるために、観光案内CMを発表する」という言語活動が設定されている。主な言語材料は、「行きたい場所」Where do you want to go? I want to go to ....「行きたい理由・したいこと」Why do you want to go to ...? I want to go to .... What do you want to do in ...? I want to see/eat ....などである。wantは初出ではなく、Unit2で誕生日に欲しいものを伝える際に使用しているが、今回はwant to 動詞「○○したい」という表現で登場する。中学一年生入門期の指導を振り返ってみると、小学校で学んだ“I want to go to 場所”という表現は比較的定着が良いのに対し、セットフレーズとして覚えていて“I want to go to eat Takoyaki.”など、動詞を多用する間違いが多く見られた。そこで、「want to 動詞」の導入については慎重に扱いたい。教科書の言語活動では、Let's go to the Kanto Area! Where do you want to go in Japan? I want to go to Yokohama.など、グループでお互いに質問したり答えたりする形式で観光CMを発表することになっているが、Let's という誘う表現で発表を開始し、質問に対し I want to go to ....と自分の行きたい場所を伝える、という設定を、本校児童の実態（興味・関心）により合った題材にしたいと考えている。そこで、単元末の言語活動を「5年4組お別れ旅行で行きたい場所を話し合う」という“話すこと[やり取り]”へと設定し、より自然な言語の使用場面での会話を目指したい。

#### 3 児童の実態について

児童の実態については、当日配布いたします。

#### 4 指導について

前述の「単元について」と「児童の実態」から、以下の6点について重点項目として指導をする。

##### (1) 自分の言葉で気持ちや考えを伝える

本学級の児童は学級会などで自分の意見を積極的に言うことができる。覚えることに苦手意識があることが日々の発言から感じ取れる。そこで、「覚えたことを言う」のではなく「自分の気持ちや考えを友達に伝える」ことを最重要視したい。小学校担任が指導するからこそ良く知っている児童の実

態を生かし、学級会のような雰囲気の中で自由に友達と意見を交わす場を設定したい。

## (2) 繰り返しの指導

言語材料の導入については「1回の授業で1つの表現」を基本に、帯学習のように毎回扱って定着を目指す。特に、教員と児童とのやり取り(TS インタラクション)を十分に行い、正確性を確認してから児童同士のやり取り(SS インタラクション)へ移行するようにし、自信をもって友達と交流できるようにする。一年間を通して既習事項を繰り返し何度も扱うことにより、新出事項と既習事項を織り交ぜて会話活動ができるようにする。

## (3) 友達の言葉を聞いてリアクションをする

事前アンケートの結果より、みんなの前で発表をすることに不安を抱えている児童がいることが分かった。特に、間違いを恐れて積極的に発表できない児童にとっては、仲間が自分の発表を聞こうとしている姿勢は励みになるだろう。そこで、Sounds nice! Good idea! などのリアクションを大切にした会話活動を行いたい。毎時間の最初に帯で実施している Delivery Time(友達にリフレクションカードを渡しに行く活動)にリアクション練習を取り入れ、無理なく自然に反応ができるよう繰り返し行いたい。

## (4) 音声について丁寧に指導をする

昨年度6年生を指導した際に「want」と「went」の発音を混同する間違いが多く見られた。コミュニケーションを円滑にするために過度に間違いを訂正することは避けたいが、音声に敏感にならないと間違った内容を相手に伝えてしまうため、最低限の Accuracy(正確性)も重視したい。そのため、教科書の帯活動「Sounds and Letters」だけでなく、音の違いや、音声と文字を結び付ける活動を毎時間取り入れ、正しい発音で伝えられるようにしたい。

## (5) 言語の使用場面をたくさん提示する

小学校の教科書は場面シラバスで作成されているため、その単元で使用した言語材料がその場面でしか使用できないと思い込んでいる児童も多い。今回は、「I want to go to ....や I want to eat ....」を使用して「日本の中で行きたい場所やそこでやりたいことを伝える」という場面を設定している。もちろんこれらの言語材料は他の状況や場面でも使用されていることから、今後、既習事項として自由に表現することができるためにも、生きた言葉として使用できるよう、様々な状況や場面を提示したい。

## (6) 「聞く」ことを大切にする

TS インタラクションや友達との QA 活動を毎回行っているため、自分の考えや気持ちを伝えることには慣れてきたよう思う。一方で自分の気持ちを話すことに集中し過ぎてしまい、友達の言葉をしっかり理解して聞こうとする姿勢には課題が残る。話すことと同じくらい聞くことを大切にしたい。テンポ良く授業を進めることも大事だが、考える時間を確保し、伝えようとする内容を整理しまとめるために、頭の中で思考する時間を大切に、児童の発話を「待つ」ことを心掛けたい。

## 5 単元の目標

お別れ旅行の行き先を決めるために、自分や友達が行きたい場所とそこでやりたいことについて話し合うことができる。

・お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい日本の場所やそこでしたいことについて、Where do you want to go? I want to go to .... Why (What) do you want to ...? 及びその関連語句を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。

【知識及び技能】

・お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。

【思考力、判断力、表現力等】

・お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

## 6 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」及び「読むこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Where do you want to go? I want to go to .... Why (What) do you want to ...? 及びその関連語句などの特徴やきまりを理解している。</li></ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>行きたい日本の場所やそこでしたいことについて、Where do you want to go? I want to go to .... Why (What) do you want to ...? 及びその関連語句を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</li></ul>	<p>・お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>・お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>

話すこと 「発表」		・自分が見つけた日本の素敵 な場所を友達に伝えるた めに、行きたい場所やそこ でしたいことなどについて簡 単な語句や学習した表現を用 いて、考えや気持ちなどを話 している。	・自分が見つけた日本の素敵 な場所を友達に伝えるた めに、行きたい場所やそこ でしたいことなどについて簡 単な語句や学習した表現を用 いて、考えや気持ちなどを話 そうとしている。
書くこと	<p>&lt;知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I want to go to .... I want to see/eat ....及びその関連語句などの特徴やきまりを理解している。</li> </ul> <p>&lt;技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行きたい日本の場所やそこ でしたいことについて、I want to go to.... I want to see/eat....及びその関連語句を用いて、考えや気 持ちなどを書く技能を身に 付けている。</li> </ul>	<p>・お別れ旅行の計画書を作成するために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを書いている。</p>	<p>・お別れ旅行の計画書を作成するために行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを書こうとしている。</p>

## 7 単元計画(11時間)

時 間	◆目標・○活動 ④は児童に示すめあて	評価			
		知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	態 度	◎評価規準<評価方法>
帯	<p>○<u>Delivery Time</u> ランダムに配られた振り返りカードを持ち主に届け、「How are you?」「What ○○ do you like?」などのQAとリアクションを交えた簡単なやり取りをする。</p> <p>○<u>Sounds and Letters</u> 教科書の Sounds and Letters や Listening Pyramid(音韻・音素認識を高めるための活動、単語定着を目指す活動)などを行う。</p> <p>○<u>Let's Chant</u> Unit 7 の 2 つの Chant を中心に、自分のことに言い換えたりして練習をする。</p> <p>○<u>Reflection Time</u> ④いごについてわかったこと、④いろんなところで使ってみたい、④ーるに向かって次頑張ることの 3 つの視点で振り返る。</p>				

プ レ	◆クリスマスに行きたい場所について自分の気持ちを伝える。 ① クラスのみんなのクリスマスの希望を調査しよう。					
①	○Delivery Time ○Sounds and Letters ・Listening Pyramid (review) ○Let's Chant ・①②の内容確認と Unit 7 の目標確認 ○動詞の確認 ・授業支援クラウド(スクールタクト)で go / eat / see / play の使用場面の確認 ○ Where do you want to go on Christmas day? ・TS Interaction ○Writing Time ・音と文字の一致 ・話したことを 1 文書く ○Reflection Time					☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
②	◆冬休みに行きたい場所について自分の気持ちを伝える。 ② クラスのみんなの冬休みの希望を調査しよう。					☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
1	◆給食で食べたいメニューについて自分の気持ちを伝える。 ③ 食べたい!を伝えよう。					☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Listening Pyramid (want/went:文字)</li> <li>○Let's Chant</li> <li>•①をペアで歌う</li> <li>○ What do you want to eat for school lunch?</li> <li>•TS Interaction</li> <li>○Writing Time</li> <li>•音と文字の一致</li> <li>•話したことを 1 文書く I want to eat ....</li> <li>○Reaction Game</li> <li>•カードゲームを通してリアクション練習をする</li> <li>○Reflection Time</li> </ul>				い。
2	<p>◆動物園や水族館で見たいものについて自分の気持ちを伝える。</p> <p>⑥みたい!を伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Delivery Time</li> <li>○Sounds and Letters</li> <li>•Listening Pyramid (want/went:絵)</li> <li>○Let's Chant</li> <li>•①を替えて歌う</li> <li>○What do you want to see at the zoo and the aquarium?</li> <li>•TS Interaction</li> <li>○Writing Time</li> <li>•音と文字の一致</li> <li>•話したことを 1 文書く I want to see ....</li> <li>○Reflection Time</li> </ul>				☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
3	<p>◆キャラクター達の行きたい場所やそこでやりたいことを聞き取る。</p> <p>⑥ベーカー先生の質問に答えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Delivery Time</li> <li>○Sounds and Letters</li> <li>•Listening Pyramid (onset rhyme)</li> <li>○Let's Chant</li> <li>•①をペアで入れ替えて歌う</li> <li>○Story</li> </ul>	書くこと			<p>◎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•I want to go to ~. I want to see/eat~. 及びその関連語句などの特徴やきまりを理解している。</li> </ul> <p>◎技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•行きたい日本の場所やそこでした</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクチャーカードを見て内容を想像する</li> <li>・音声のみ聞く</li> <li>・4つの場面を4人で分担して聞く</li> <li>・担当場面の内容を4人で共有する</li> <li>・全体でもう一度聞く</li> <li>・キャラクターになりきって質問に答える (内容確認)</li> <li>・音と文字の一致</li> </ul> <p>○Writing Time</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーカー先生の Where do you want to go?という質問の答えを1文書く I want to go to ....</li> </ul> <p>○Reflection Time</p>				いことについて、I want to go to ~. I want to see/eat~.及びその関連語句を用いて、考えや気持ちなどを書く技能を身に付けていく。 <ライティングワークシート>
4	<p>◆「私の行きたいところはどこでしよう?」クイズをする。</p> <p>(め)行きたいところを当てよう!</p> <p>○Delivery Time</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Listening Pyramid (onset rhyme)</li> </ul> <p>○Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②をペアで歌う</li> </ul> <p>○Let's Listen !</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リアクションの仕方を確認する</li> </ul> <p>○行きたいところを当てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A:I want to eat Unagi. I want to see Mt.Fuji. B:Shizuoka!</li> <li>A:Yes! I want to go to Shizuoka. No. I want to go to Shizuoka.</li> </ul> <p>○Writing Time</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音と文字の一致</li> <li>・話したことを1文書く I want to go to ....</li> </ul> <p>○Reflection Time</p>	話すこと「やり取り」			<p>◎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Where do you want to go? I want to go to ~. Why (What) do you want to ~? 及びその関連語句などの特徴やきまりを理解している。</li> </ul> <p>◎技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行きたい日本の場所やそこについて、Where do you want to go? I want to go to ~. Why (What) do you want to ~? 及びその関連語句を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察&gt;</p>
5	<p>◆発表内容を充実させる。</p> <p>(め)「もっと言えるかな?」に挑戦。</p> <p>○Delivery Time</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Listening Pyramid (onset rhyme)</li> </ul>				☆本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。

	<p>○Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①をペアで入れ替えて歌う</li> </ul> <p>○Watch and Think</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・buy の確認</li> </ul> <p>○話した内容を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I want to go to Korea.</li> <li>I want to meet Nainwoo.</li> <li>I want to buy KOPIKO.</li> <li>I want to eat Yakiniku.</li> <li>I want to see the Seoul tower.</li> </ul> <p>○Story をもう一度視聴する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前(市町村)</li> <li>・尾瀬国立自然公園(観光地)</li> <li>・北海道(都道府県)</li> <li>・白川郷(観光地) ⇒ 岐阜(県)</li> </ul> <p>○Reflection Time</p>				
6	<p>◆クラスの友達に向けて日本で行きたいところを伝える。</p> <p>⑥友達の発表を聞いてもっと日本を知ろう。</p> <p>○Delivery Time</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Listening Pyramid (onset rhyme)</li> </ul> <p>○Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①②をペアで歌う</li> </ul> <p>○1枚スライドで発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I want to go to ....</li> <li>・I want to eat/see ....</li> <li>・その他の情報</li> </ul> <p>○Writing Time</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表を聞いて、日本の行きたいところベスト3を書く</li> </ul> <p>○Reflection Time</p>	話すこと 「発表」	話すこと 「発表」	<p>○思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が見つけた日本の素敵な場所を友達に伝えるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。</li> </ul> <p>&lt;パフォーマンステスト&gt;</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が見つけた日本の素敵な場所を友達に伝えるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。</li> </ul> <p>&lt;パフォーマンステスト ・振り返りシート&gt;</p>	
7	<p>◆行きたいところに一緒にしてくれる友達を探す。</p> <p>⑥ツアー参加者を募集しよう。</p> <p>○Delivery Time</p>				☆本時では、目標に向けて指導を

	<p>○ Sounds and Letters ・Listening Pyramid (onset rhyme)</p> <p>○ Let's Chant ・①②を替えて歌う</p> <p>○ Let's Listen 2 ・You can の文を確認する</p> <p>○ 前回発表したものをアレンジする ・I want to eat Unagi. ⇒ You can eat Unagi in Shizuoka. I want to see Mt.Fuji. ⇒ You can see Mt.Fuji in Shizuoka.</p> <p>○ 参加したいツアーを選ぶ ・トリオで発表を聞いて、一番参加したいものを I want to go to ....で答える</p> <p>○ Reflection Time</p>				行うが、記録に残す評価は行わない。
8 本 時	<p>◆ 5年4組お別れ旅行の行き先と、そこでみんなで楽しめる活動を英語で話し合って決める。</p> <p>(め) 5年4組お別れ旅行の行き先と、そこでみんなで楽しめる活動を英語で話し合って決めよう。</p>				
	<p>○ Delivery Time</p> <p>○ Sounds and Letters ・Listening Pyramid (onset rhyme)</p> <p>○ お別れ旅行の行き先を決めよう ・導入の話題 ・モデル案提示 ・行きたいところについて話し合う</p> <p>○ 投票</p> <p>○ Reflection Time</p>	話すこと 「やり取り」	話すこと 「やり取り」		<p>◎ 思考・判断・表現 ・お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>&lt;行動観察&gt;</p> <p>◎ 主体的に学習に取り組む態度 ・お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p>&lt;行動観察・振り返りシート&gt;</p>
9	<p>◆ 話したことをもとに「5年4組旅行計画」を書く。</p> <p>(め) 「5年4組お別れ旅行計画」を作ろう。</p>	書くこと	書くこと		<p>◎ 思考・判断・表現 ・お別れ旅行の計画書を作成するために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>*「MI 分類」を参考に、自分に合った方法を 1 つ選び旅行計画を作成する。</li> </ul> <p>○Reflection Time</p> <p>*「MI 分類」について 児童一人一人の個性を理解し、それに応じた学習方法を提供すること。これにより、学習の効果を高め、児童の自信と興味を引き出す助けとなる。</p>				<p>学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを書いている。</p> <p>&lt;ライティングワークシート&gt;</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度 ・お別れ旅行の計画書を作成するために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを書こうとしている。</p> <p>&lt;行動観察・振り返りシート&gt;</p>
---	--	--	--	---

## 8 本時の展開(8/9 時)

### (1) 本時の目標

- ・お別れ旅行の行き先を決めるために、自分や友達が行きたい場所とそこでやりたいことについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを話し合うことができる。

### (2) 展開

過程	○児童の活動 ・学習内容	□評価規準(観点)<評価方法> ●指導上の留意点
5 分	<p>○Delivery Time</p> <p>ランダムに配られた「振り返りカード」を持ち主のところへ持っていく、『その日の QA』と『リアクション』の会話をする。</p>	<p>●リアクションがまだ十分ではないので、しっかりと反応することを確認してから開始する。</p>
10 分	<p>つかむ</p> <p>○Small Talk</p> <p>・導入の話題から今日のめあてを確認する。</p> <p>林間学校が一番の思い出であり、もう一度このメンバーで旅行に行きたい。Flat me (ペラペラ人形) の旅行先とそこでやることを考えよう!</p>	
	<p>⑥ 5 年 4 組お別れ旅行の行き先と、そこでみんなで楽しめる活動について英語で話し合って決めよう。</p>	
	<p>見通す</p> <p>○モデル案提示</p> <p>・「やりたいこと」と「例」を提示する。</p>	<p>●児童の日本語力(言いたいこと)と英語力(実際に言えること)の差</p>

	<p>① ホテルでみんなでご飯を食べている写真 ⇒「みんなでおいしものをたべたい!」(eat) 例) 北海道 / カニ</p> <p>② 東照宮で撮ったクラス写真 ⇒「みんなですてきなものをみたい!」(see) 例) 静岡 / 富士山</p> <p>③ 戦場ヶ原の集合写真 中禅寺湖でのクルージング写真 ⇒「みんなでたのしいことをしたい!」 (take a nice photo) (ride a boat) 例) 東京ディズニーランド / シンデレラ城</p> <p>④ ???</p>	<p>が広がりすぎないように「やりたいこと」を提示する。やることは決まっているのでそこから行きたい場所を考える。</p>
<p>展 開 20 分</p>	<p><b>考える</b></p> <p>○行きたいところについて話し合う</p> <p>・Where do you want to go?</p> <p>(1) トリオで話し合う</p> <p>(2) 6人組で話し合う</p> <p>(3) 全体で話し合う</p> <p><b>深める</b></p> <p>○その場所で何をしたいかについて話し合う</p> <p>・What do you want to do?</p> <p>・Why do you want to go to ~?</p>	<p>●教師は司会者として話し合いに参加し、リアクションがしやすいように適宜 What do you think? や How about you?などを全体に呼びかける。</p> <p>□お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。 (思考・判断・表現)</p> <p>&lt;行動観察&gt;</p> <p>□お別れ旅行の行き先を決めるために、行きたい場所やそこでしたいことなどについて簡単な語句や学習した表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>&lt;行動観察・振り返りシート&gt;</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p><b>まとめる</b></p> <p>○投票</p> <p>・出し合った意見の中から、自分が行きたいところとそこでやりたいことを1つ選び英文を書く</p> <p>○Reflection Time</p>	<p>・今日は英語で「○○」と言えるようになりました。</p> <p>・「○○」は「○○」という意味だと分かりました。</p> <p>・「○○」のときに「○○」を使うことが分かりました。</p>

振り返りの視点	え:えいごについてわかったこと い:いろんな場面で使えそう ご:ごーるに向かって次頑張ること ☆「ゴール」は単元の最初に自分で設定した目標	・「〇〇」のときに今日習った「〇〇」を使ってみたいです。 ・「〇〇」で「〇〇」と言ってみたいです。 ・「〇〇」のときに「〇〇」と英語で伝えたいです。 ・つぎは「〇〇」を言えるようになります。 ・つぎの授業では「〇〇」と英語で話してみたいです。 ・「〇〇」と英語で伝えることを頑張りたいです。
---------	--	--